

IV 調査結果の詳細

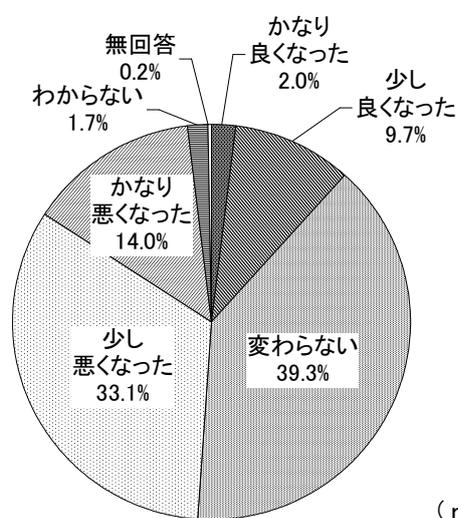
1 暮らしの変化について

(1) 暮らしの変化

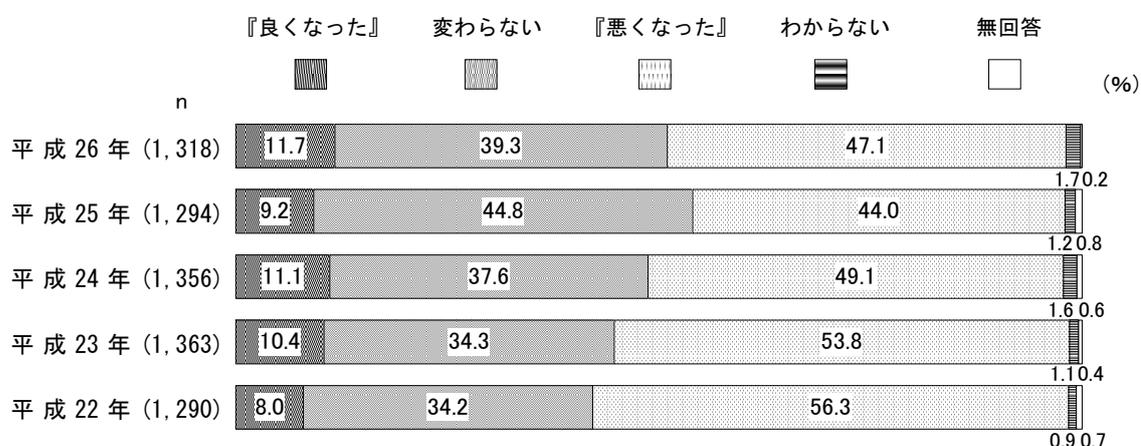
問1 あなたの暮らしは、この5～6年の間にどう変わりましたか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,318]

| | | | | | |
|---|----------|-------|---|----------|-------|
| 1 | かなり良くなった | 2.0% | 4 | 少し悪くなった | 33.1% |
| 2 | 少し良くなった | 9.7% | 5 | かなり悪くなった | 14.0% |
| 3 | 変わらない | 39.3% | 6 | わからない | 1.7% |
| | | | | (無回答) | 0.2% |

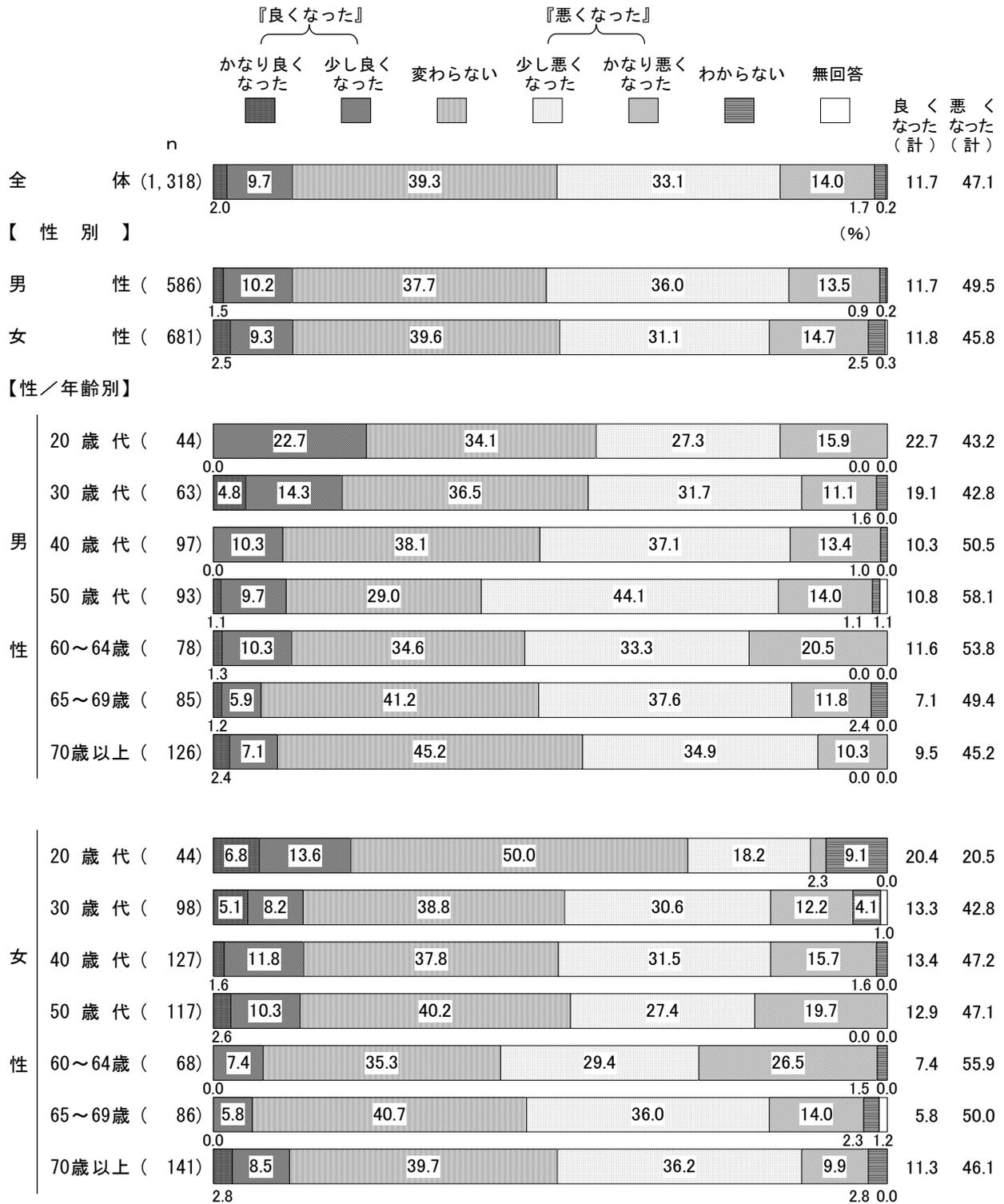


全体で見ると、「かなり良くなった」(2.0%)と「少し良くなった」(9.7%)の2つを合わせた『良くなった』(11.7%)は1割を超えている。一方、「少し悪くなった」(33.1%)と「かなり悪くなった」(14.0%)の2つを合わせた『悪くなった』(47.1%)は5割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『悪くなった』が前回(平成25年)より3.1ポイント増加している。一方、『良くなった』は1割前後で推移している。

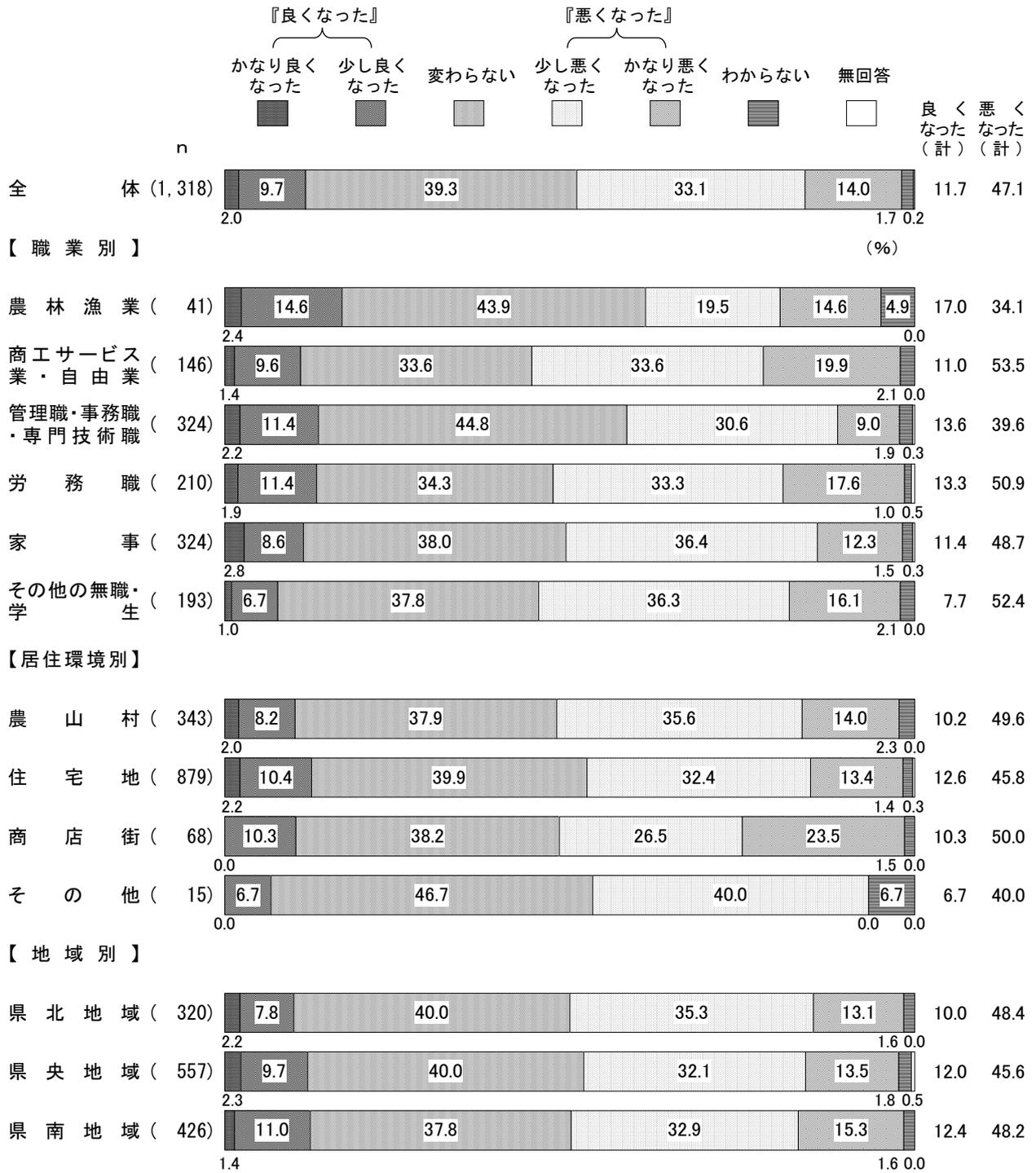
【性別・性／年齢別】



性別でみると、『悪くなった』では〈男性〉(49.5%)が〈女性〉(45.8%)より3.7ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、『良くなった』では〈男性20歳代〉が22.7%、〈女性20歳代〉が20.4%と高くなっている。一方、『悪くなった』では〈男性50歳代〉が58.1%、〈女性60~64歳〉が55.9%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別で見ると、『良くなった』では〈農林漁業〉が17.0%と高くなっている。『悪くなった』では〈商工サービス業・自由業〉が53.5%、〈労務職〉が50.9%と高くなっている。

居住環境別で見ると、『悪くなった』では〈商店街〉が50.0%、〈農山村〉が49.6%となっており、〈住宅地〉(45.8%)に比べて高くなっている。

地域別で見ると、『悪くなった』では〈県北地域〉が48.4%、〈県南地域〉が48.2%となっており、〈県央地域〉(45.6%)に比べて高くなっている。

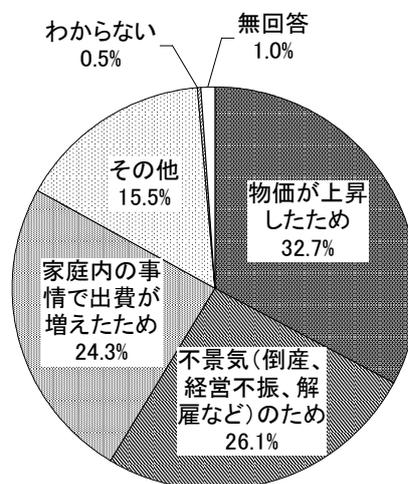
(1-1) 暮らしが悪くなった理由

(問1で「少し悪くなった」、「かなり悪くなった」を選んだ方のみお答えください)

問1-1 悪くなったのは、主にどのようなことからですか。もっとも大きな要因を1つ選んでください。

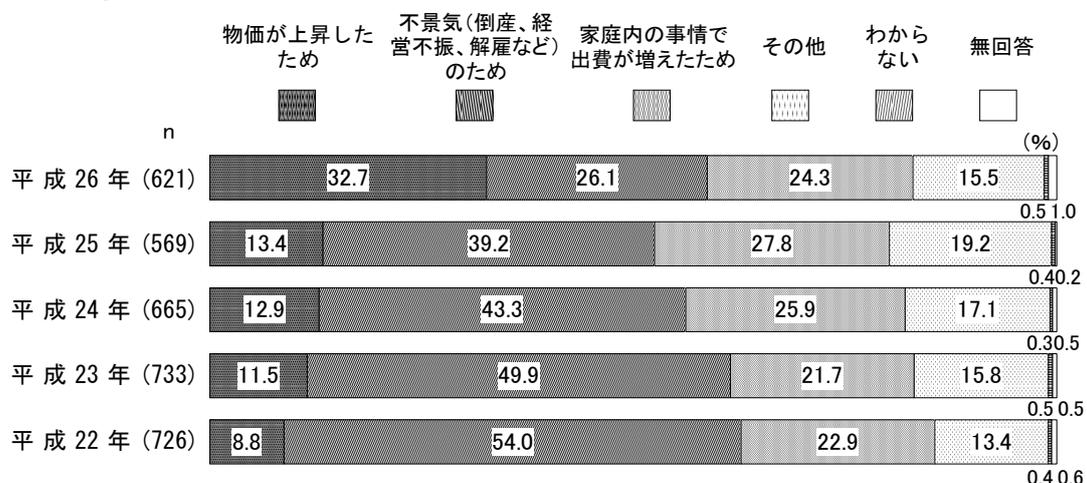
[n=621]

| | |
|------------------------|-------|
| 1 物価が上昇したため | 32.7% |
| 2 不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため | 26.1 |
| 3 家庭内の事情で出費が増えたため | 24.3 |
| 4 その他 | 15.5 |
| 5 わからない | 0.5 |
| (無回答) | 1.0 |



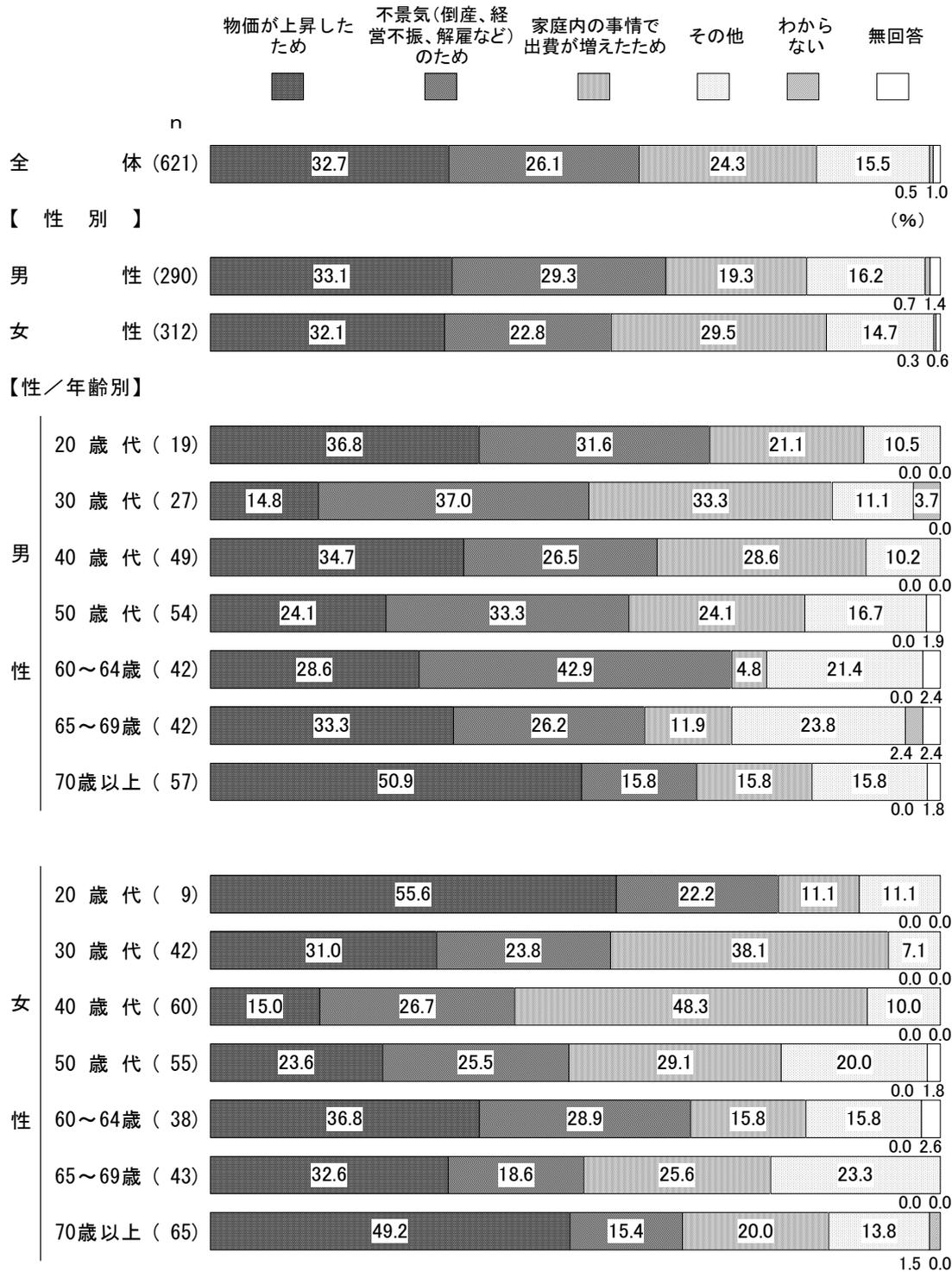
(n=621)

全体で見ると、「物価が上昇したため」(32.7%)が3割を超えて最も高く、次いで「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」(26.1%)、「家庭内の事情で出費が増えたため」(24.3%)の順となっている。



過去の調査結果と比較すると、「物価が上昇したため」が前回(平成25年)より19.3ポイント増加している。一方、「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」が前回(平成25年)より13.1ポイント減少している。

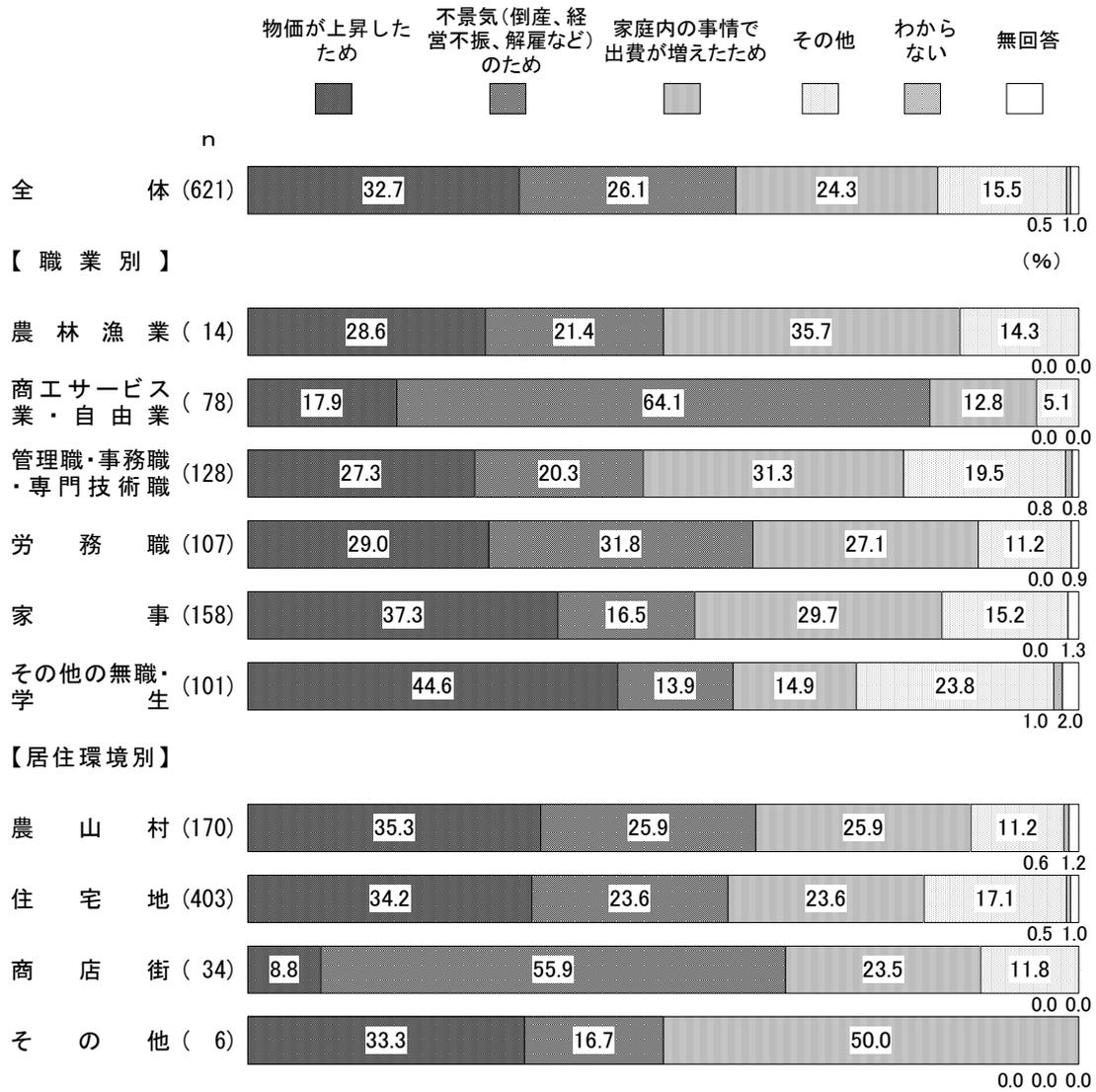
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈男性〉（29.3%）が〈女性〉（22.8%）より6.5ポイント高く、「家庭内の事情で出費が増えたため」では〈女性〉（29.5%）が〈男性〉（19.3%）より10.2ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「物価が上昇したため」では〈女性20歳代〉が55.6%、〈男性70歳以上〉が50.9%、〈女性70歳以上〉が49.2%と高くなっている。「不景気（倒産、経営不振、解雇など）のため」では〈男性60~64歳〉が42.9%、〈男性30歳代〉が37.0%と高くなっている。

[職業別・居住環境別]



職業別でみると、「物価が上昇したため」では〈その他の無職・学生〉が44.6%、〈家事〉が37.3%と高くなっている。「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」では〈商工サービス業・自由業〉が64.1%と高くなっている。

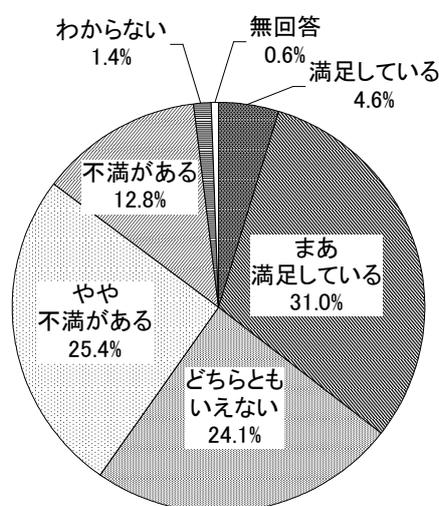
居住環境別でみると、「不景気(倒産、経営不振、解雇など)のため」では〈商店街〉が55.9%と高くなっている。

(2) 暮らしの満足度

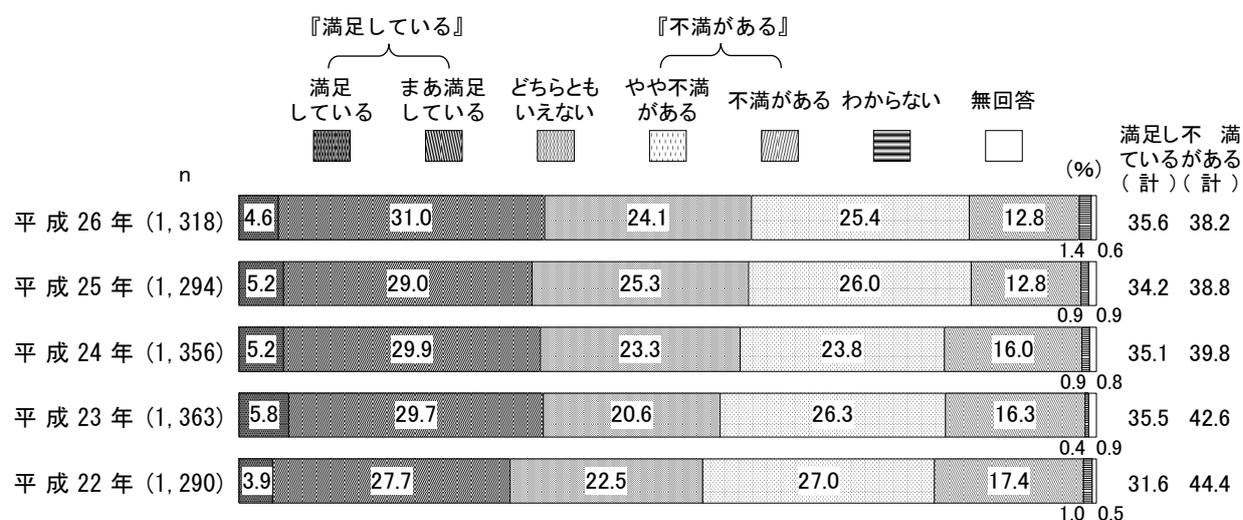
問2 あなたは、今の暮らしについてのどの程度満足していますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,318]

| | | | | | |
|---|-----------|------|---|---------|-------|
| 1 | 満足している | 4.6% | 4 | やや不満がある | 25.4% |
| 2 | まあ満足している | 31.0 | 5 | 不満がある | 12.8 |
| 3 | どちらともいえない | 24.1 | 6 | わからない | 1.4 |
| | | | | (無回答) | 0.6 |

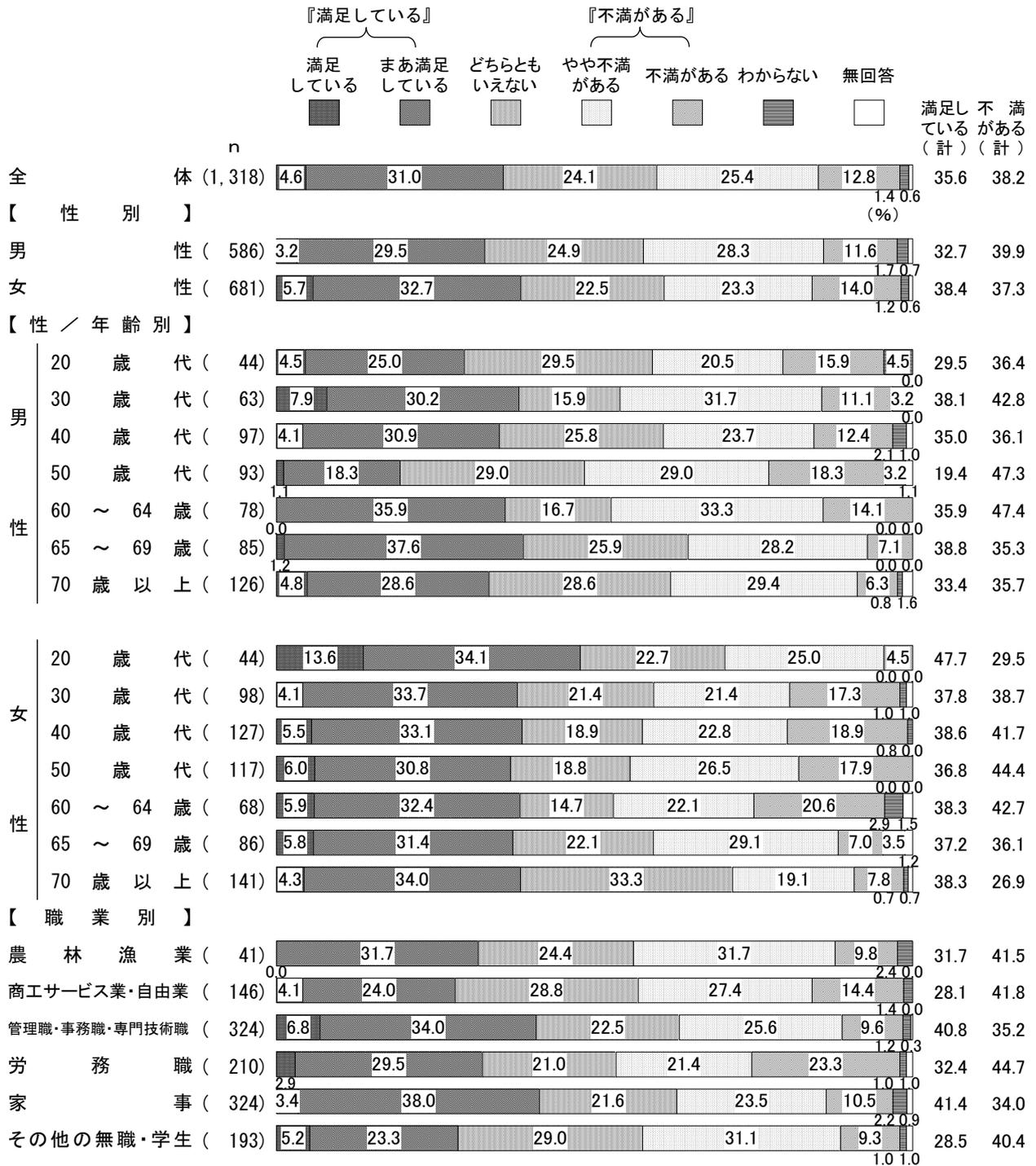


全体で見ると、「満足している」(4.6%)と「まあ満足している」(31.0%)の2つを合わせた『満足している』(35.6%)は3割半ばとなっている。一方、「やや不満がある」(25.4%)と「不満がある」(12.8%)の2つを合わせた『不満がある』(38.2%)は4割近くとなっている。



過去の調査結果と比較すると、『不満がある』がやや減少傾向となっている。『満足している』は平成23年以降3割半ばで推移しており、大きな変化はみられない。

[性別・性／年齢別・職業別]

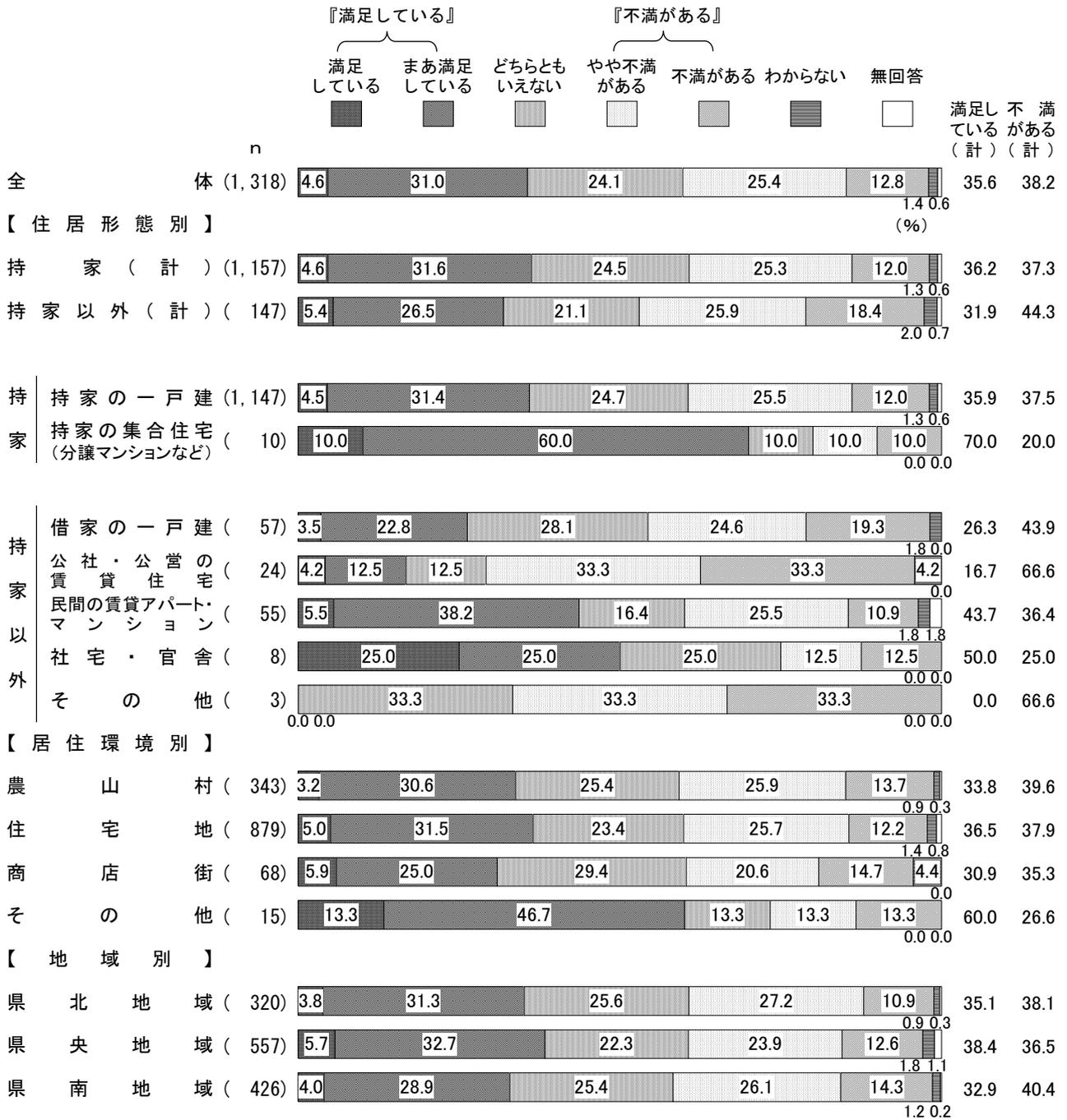


性別で見ると、『満足している』では〈女性〉(38.4%)が〈男性〉(32.7%)より5.7ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、『満足している』では〈女性20歳代〉が47.7%と高くなっている。『不満がある』では〈男性60～64歳〉が47.4%、〈男性50歳代〉が47.3%と高くなっている。

職業別で見ると、『満足している』では〈家事〉が41.4%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が40.8%と高くなっている。『不満がある』では〈労務職〉が44.7%と高くなっている。

[住居形態別・居住環境別・地域別]



住居形態別でみると、『満足している』では〈持家（計）〉（36.2%）が〈持家以外（計）〉（31.9%）より4.3ポイント高くなっている。

居住環境別でみると、『満足している』では〈住宅地〉が36.5%と高くなっている。『不満がある』では〈農山村〉が39.6%と高くなっている。

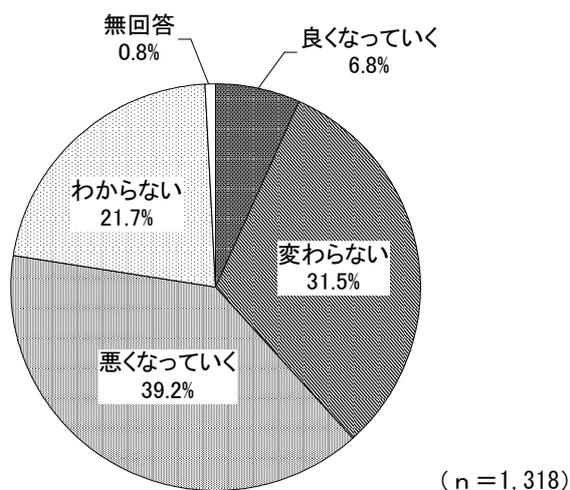
地域別でみると、『満足している』では〈県央地域〉が38.4%と高くなっている。『不満がある』では〈県南地域〉が40.4%と高くなっている。

(3) 今後の暮らしの状況

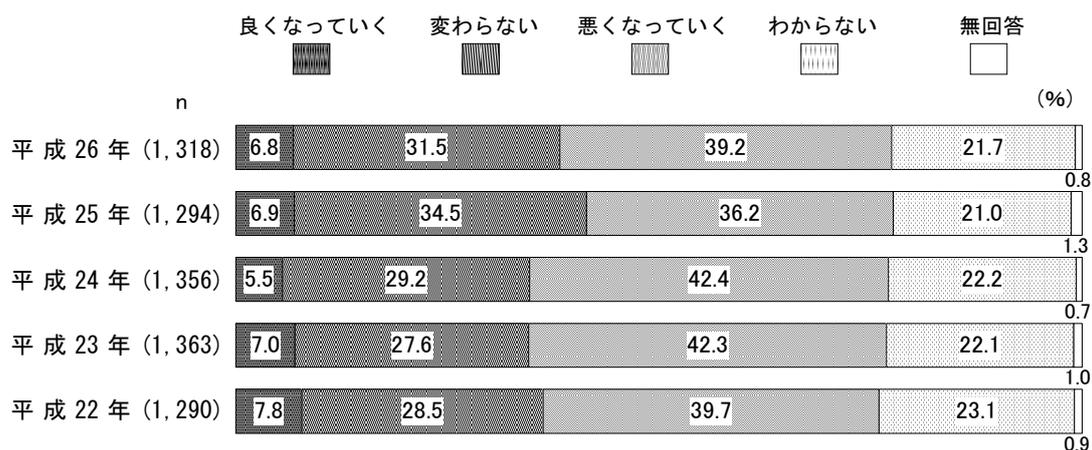
問3 あなたの暮らしは、これから先どうなっていくと思いますか。次の中から1つ選んでください。

[n=1,318]

| | | | |
|-----------|-------|-----------|-------|
| 1 良くなっていく | 6.8% | 3 悪くなっていく | 39.2% |
| 2 変わらない | 31.5% | 4 わからない | 21.7% |
| | | (無回答) | 0.8% |

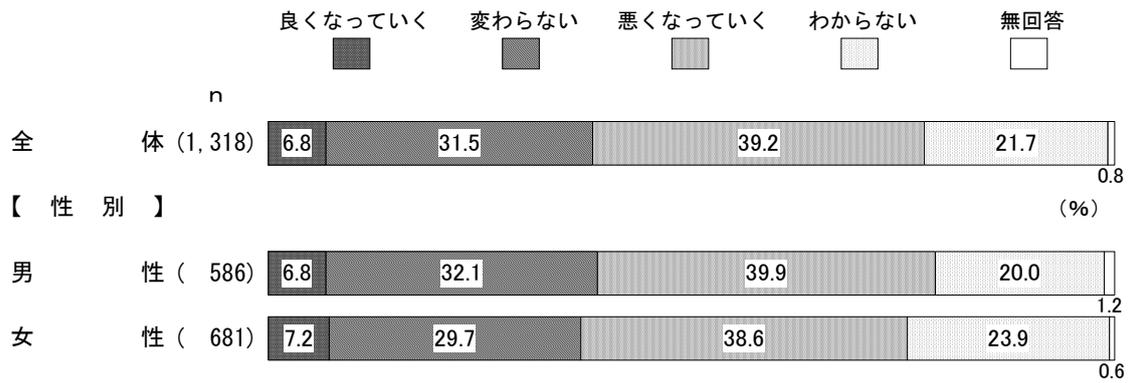


全体で見ると、「良くなっていく」(6.8%)は1割に満たない。「変わらない」(31.5%)は3割を超えており、「悪くなっていく」(39.2%)はほぼ4割となっている。

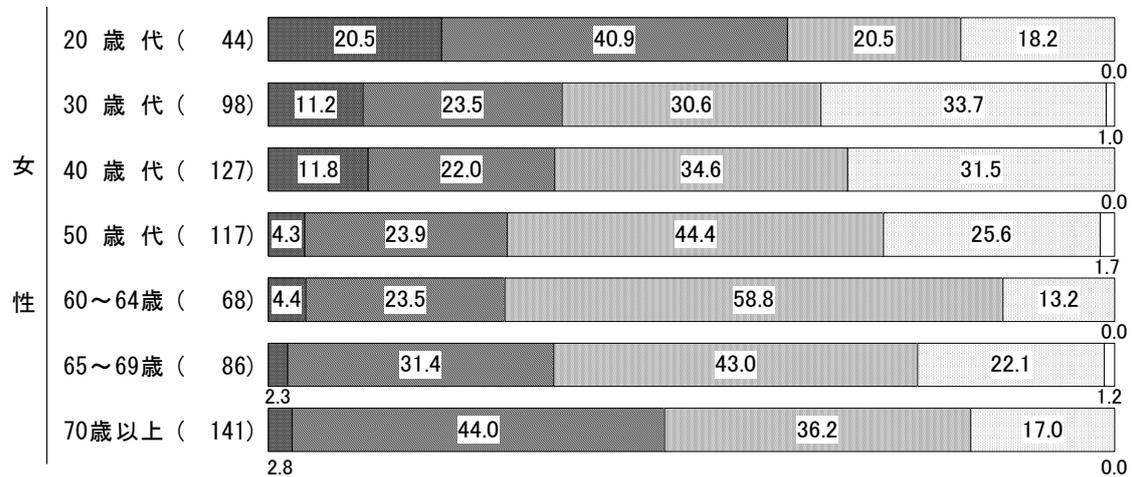
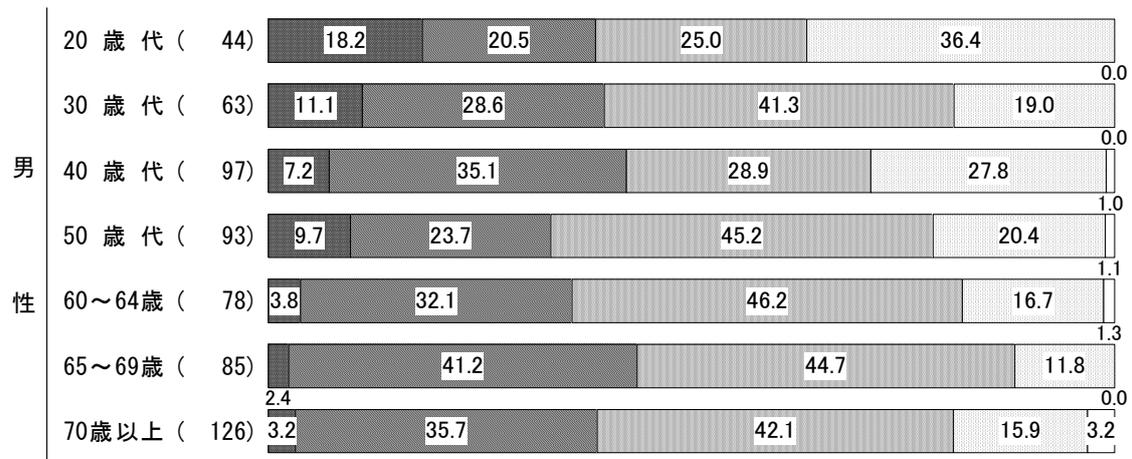


過去の調査結果と比較すると、「変わらない」が前回(平成25年)より3.0ポイント減少している。一方、「悪くなっていく」は前回(平成25年)より3.0ポイント増加している。

[性別・性／年齢別]



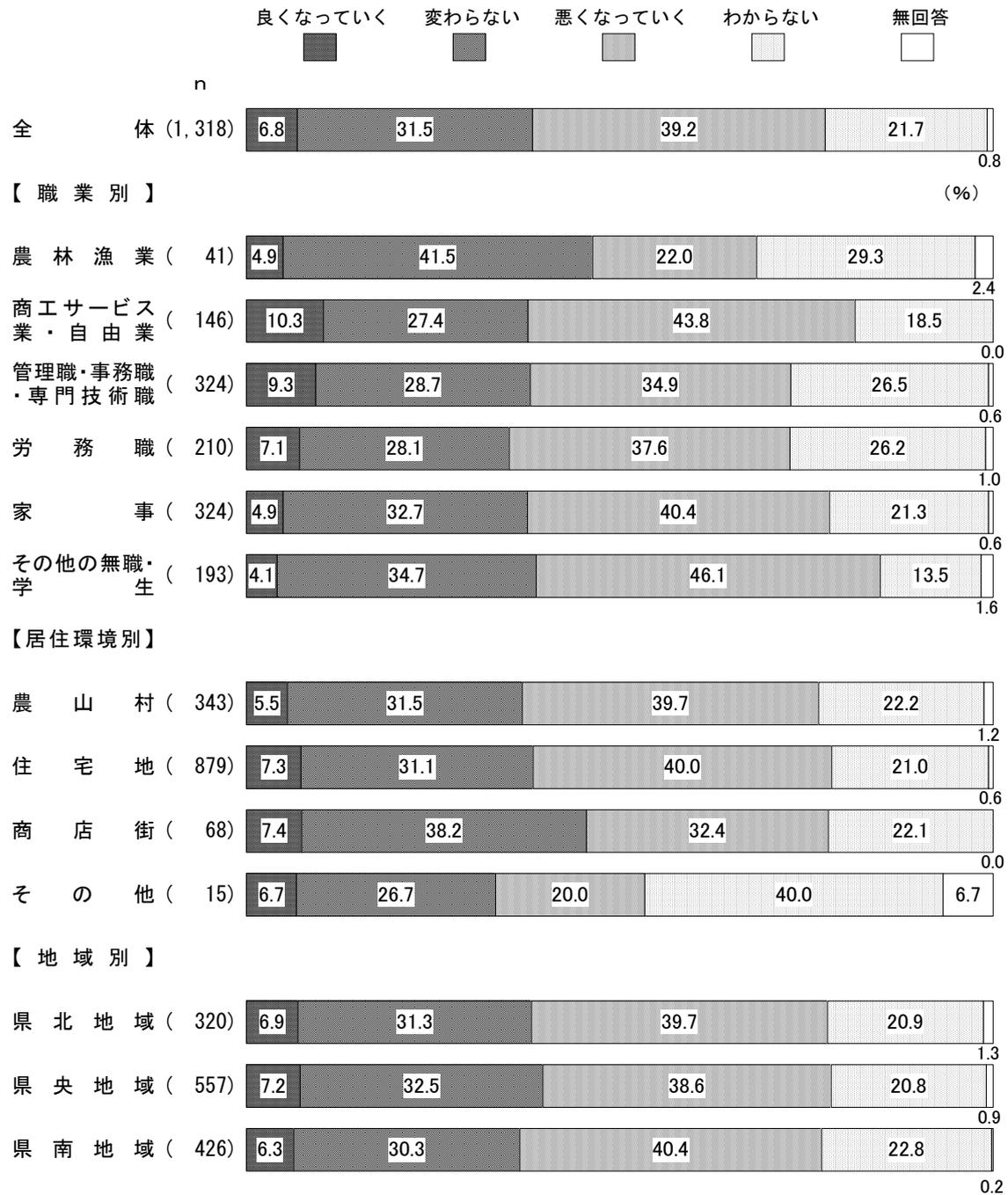
【性／年齢別】



性別で見ると、「変わらない」では〈男性〉(32.1%)が〈女性〉(29.7%)より2.4ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「良くなっていく」では〈女性20歳代〉が20.5%、〈男性20歳代〉が18.2%と高くなっている。「悪くなっていく」では〈女性60～64歳〉が58.8%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別]



職業別でみると、「良くなっていく」では〈商工サービス業・自由業〉が10.3%と高くなっている。「悪くなっていく」では〈その他の無職・学生〉が46.1%、〈商工サービス業・自由業〉が43.8%と高くなっている。

居住環境別でみると、「悪くなっていく」では〈住宅地〉が40.0%、〈農山村〉が39.7%となっており、〈商店街〉(32.4%)に比べて高くなっている。

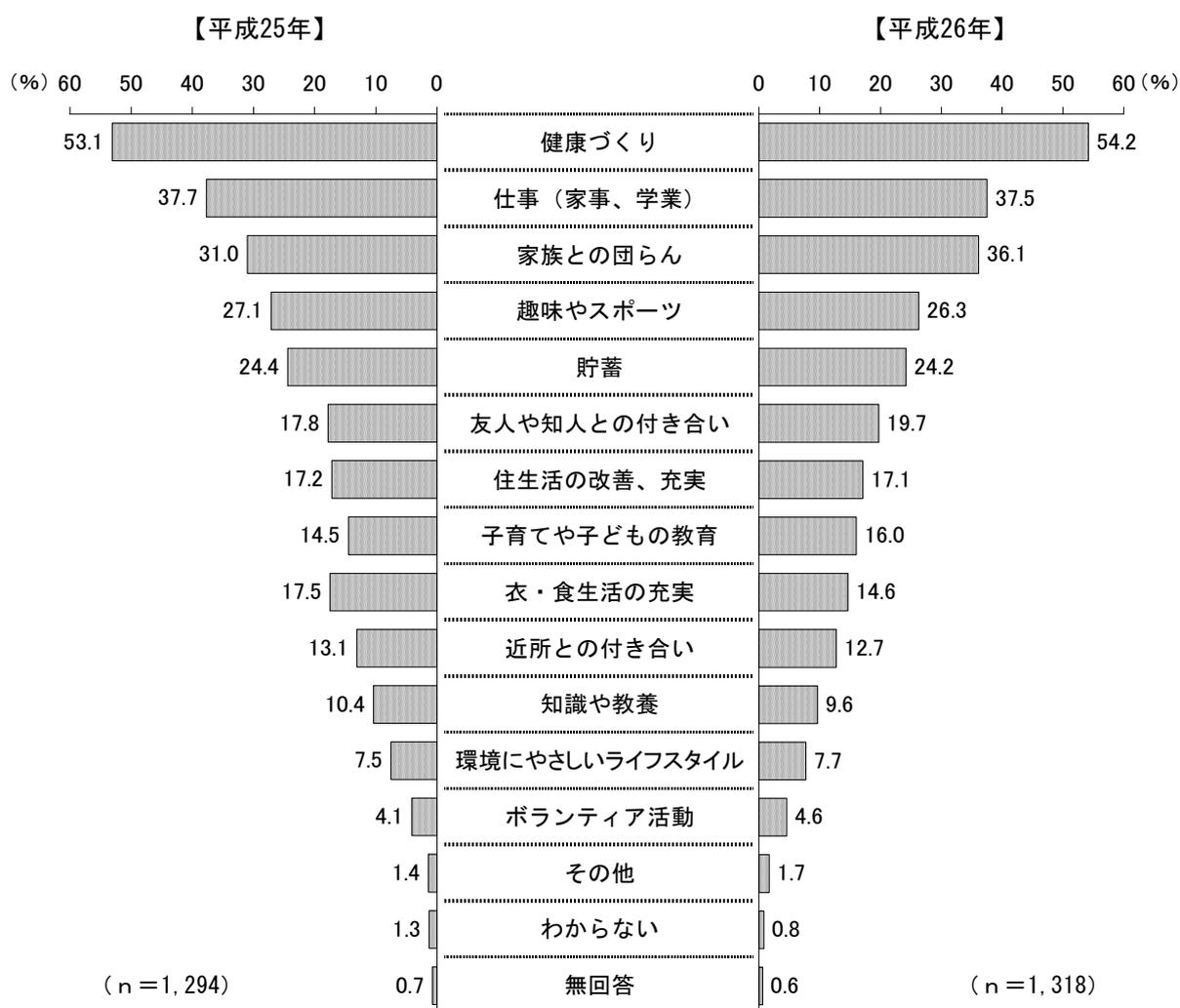
地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(4) 今後の暮らしで力を入れる点

問4 あなたは、今後の暮らしの中で、どのような点に力を入れていきたいと思いますか。
次の中から3つまで選んでください。

[n=1,318]

| | | | | | |
|---|----------------|-------|----|-------------|-------|
| 1 | 仕事（家事、学業） | 37.5% | 9 | 家族との団らん | 36.1% |
| 2 | 知識や教養 | 9.6 | 10 | 近所との付き合い | 12.7 |
| 3 | 貯蓄 | 24.2 | 11 | 友人や知人との付き合い | 19.7 |
| 4 | 趣味やスポーツ | 26.3 | 12 | 子育てや子どもの教育 | 16.0 |
| 5 | ボランティア活動 | 4.6 | 13 | 健康づくり | 54.2 |
| 6 | 衣・食生活の充実 | 14.6 | 14 | その他 | 1.7 |
| 7 | 住生活の改善、充実 | 17.1 | 15 | わからない | 0.8 |
| 8 | 環境にやさしいライフスタイル | 7.7 | | （無回答） | 0.6 |

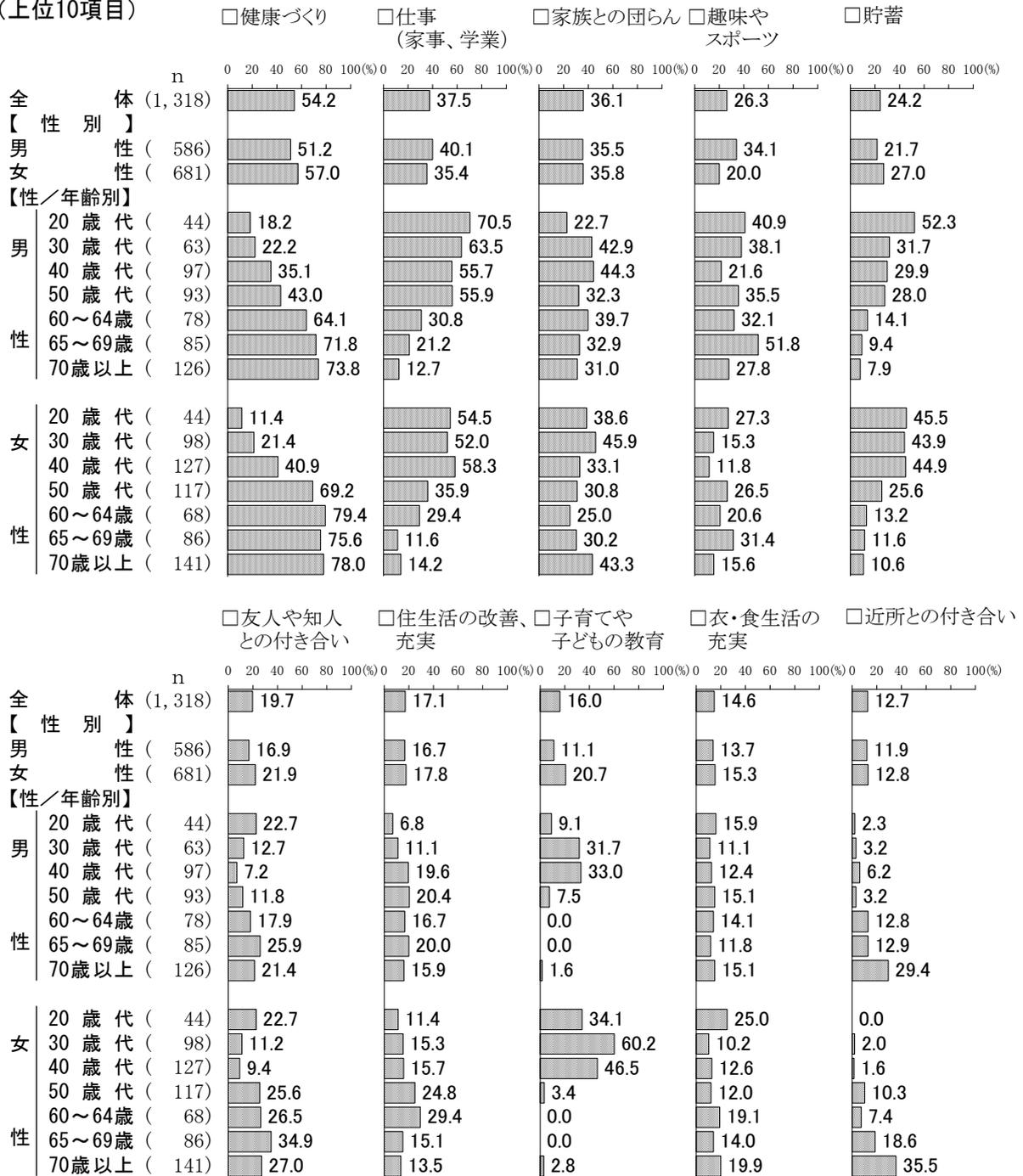


全体で見ると、「健康づくり」(54.2%)が5割半ばで最も高く、次いで「仕事(家事、学業)」(37.5%)、「家族との団らん」(36.1%)、「趣味やスポーツ」(26.3%)、「貯蓄」(24.2%)の順となっている。

前回（平成25年）の調査結果と比較すると、「家族との団らん」が5.1ポイント増加している。

[性別・性／年齢別]

(上位10項目)

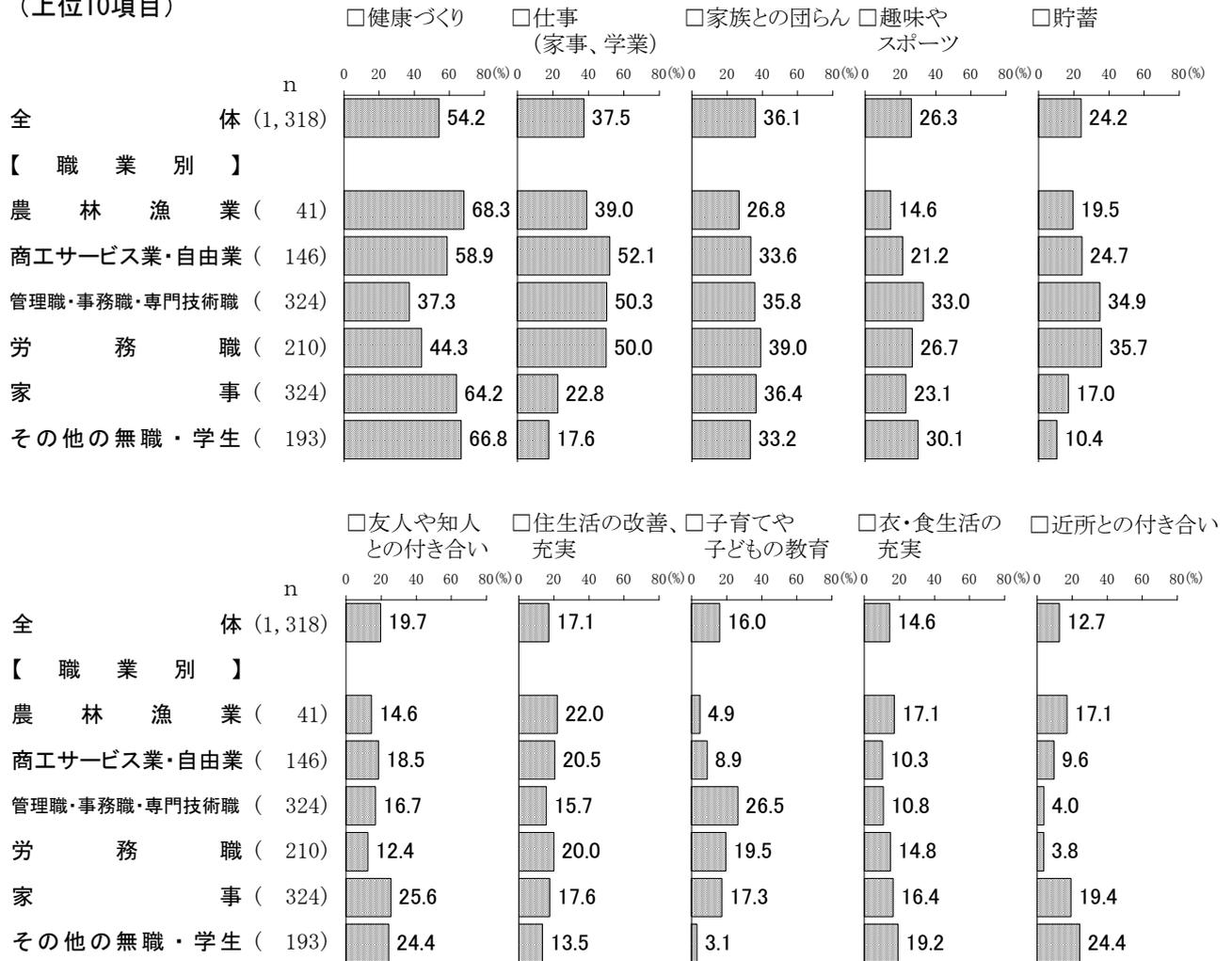


性別でみると、「趣味やスポーツ」では〈男性〉(34.1%)が〈女性〉(20.0%)より14.1ポイント高くなっている。「子育てや子どもの教育」では〈女性〉(20.7%)が〈男性〉(11.1%)より9.6ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「健康づくり」では〈女性60~64歳〉が79.4%、〈女性70歳以上〉が78.0%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈男性20歳代〉が70.5%、〈男性30歳代〉が63.5%と高くなっている。「趣味やスポーツ」では〈男性65~69歳〉が51.8%と高くなっている。「貯蓄」では〈男性20歳代〉が52.3%と高くなっている。「子育てや子どもの教育」では〈女性30歳代〉が60.2%と高くなっている。「近所との付き合い」では〈女性70歳以上〉が35.5%と高くなっている。

[職業別]

(上位10項目)



職業別でみると、「健康づくり」では〈農林漁業〉が68.3%、〈その他の無職・学生〉が66.8%と高くなっている。「仕事(家事、学業)」では〈商工サービス業・自由業〉、〈管理職・事務職・専門技術職〉、〈労務職〉が5割台と高くなっている。「貯蓄」では〈労務職〉が35.7%、〈管理職・事務職・専門技術職〉が34.9%と高くなっている。